

だれにも
わかる、
おそうじ入門



はじめての おそうじ

ダスキン暮らしの快適化生活研究所：編

毎日ラクに続けられる

「簡単+ついでにおそうじ」

毎日のおそうじの基本は、汚れをこまめにとること。
何かのついでにできることをプラスしていけば、
手間ヒマかけなくとも、キレイが実現できます。

リビング

家族が集まるリビングは、ホコリやゴミもたまりやすいもの。特にフローリングの床はおそうじがラクな反面、汚れが目立ちやすいので、マメに手入れしましょう。



毎日のおそうじは…

- 化学モップやペーパーモップで、ホコリ・ゴミを取る。
- 水や汚れがついたら、そのつど拭く。

ついでに
おそうじ

ホコリは、いったん舞い上がると、落ちてくるのに時間がかかるので、積もっているうちに取るのがコツ。だから、床のモップがけは朝起きてすぐや、外出から帰ったついでにしましょう。化学モップなどを玄関の近くに収納しておくと、帰宅時にそのままモップで、入り口から奥へと拭いていけます。

ついでに
おそうじ

テレビを見ながら、ついでにカーベットの目についたゴミや髪の毛を、ガムテープでくっつけて取ります。粘着ローラーを使う方法もあります。

ひとくち
アドバイス

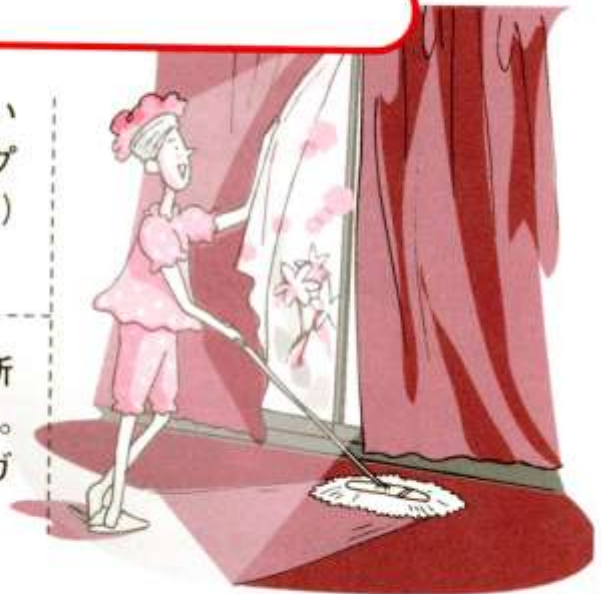
毎日の床そうじは手軽なモップで
化学モップやペーパーモップなら、掃除機を使うよりもずっと簡単。スイスイすべらせるだけで、ホコリが取れちゃう。部屋のすみなど、サッと取り出せる場所に置いておこう。毎日モップがけをすれば、掃除機をかける回数も減らせるよ。



フローリングのおそうじ

1 朝起きてすぐ、ホコリを舞い上げないうちに、化学モップやペーパーモップで床（フローリング、クッションフロア）を拭きます。

2 モップにつかないゴミなどは、一箇所に集め、小型掃除機で吸い取って。水で湿らせたティッシュペーパーやガムテープで取ってもいいでしょう。



床についた汚れ取り



1 床に水や食べ物などをこぼしたら、すばやくボロ布やティッシュペーパーで拭き取りましょう。

2 古いタオル、Tシャツを切ってティッシュの空き箱などに入れ、近くに置いておくと、すぐ使えるし、不用品の有効活用もできます。

キッチン

キッチンはやっかいな油污れ、こげつき、食品カス、ヌメリなど、汚れの種類もいろいろ。いつも清潔にしておくためには、使うたびに汚れを取っておくことが大切です。



毎日のおそうじは…

- シンクをスポンジで洗い、排水口をタワシでこする。
- シンクまわり、ガスレンジと周囲の壁を拭く。
- ガスレンジが汚れたときは熱いうちに拭き取る。

ついでに
おそうじ

台拭きクロスで調理台を拭いたら、ついでにシンクまわり、ガスレンジ、周囲の壁を拭きます。しつこい油污れがついている場合は、薄めた台所用洗剤をつけて。

ついでに
おそうじ

ガスレンジの受け皿のふきこぼれ跡などは、煮炊き物をしながら取る方法も。やかんなどで受け皿に水を入れ、鍋を火にかけて普通に調理します。火を止めた後、少し時間をおいてから、濡れたクロスでガスレンジを拭きます。五徳が完全に冷めたら、受け皿の水を捨てて拭いておきましょう。

ひとくち
アドバイス



重曹はお料理にもおそうじにも重宝

重曹は、クレンザーの代わりにも使える働き者。シンクやガスレンジ、蛇口まわりのおそうじから、コップ磨き、茶渋取りと、幅広く利用できる。調味料の空きビンに入れておくと、必要な分だけ振り出せて、使い勝手もグッド。

シンクと排水口のおそうじ

- 1 食器を洗った後、残りの台所用洗剤をスポンジにつけて、シンクをサッとのおそうじ。蛇口まわりも一緒に洗います。



- 2 水切りカゴの生ゴミを捨て、柄つきタワシで排水口の内側をゴシゴシこすり、水で洗い流します。柄つきタワシは、排水口に使いやすいサイズなので、おそうじもスムーズ。

ガスレンジの拭きそうじ

- 1 ガスレンジの油の飛び散り、煮こぼれは、調理が終わった後、熱いうちに濡れたクロスで拭き取りましょう。

- 2 タイミングを逃さないよう、すぐに使えるガスレンジ用のクロスを用意して。また、ボロ布で拭き取れば、そのまま捨てられてラクです。



トイレ

1日に何度も使うトイレ。トイレに1回行ったら、便器をブラシで洗う。2回目は床を拭く。これを実践するだけで、知らないうちにトイレはきれいになっています。



毎日のおそうじは…

- 便器の中をブラシでこする。
- 便座まわりを拭く。
- 床をモップがけする。

ついでに おそうじ

トイレを使用した後、便座まわりも拭いておきましょう。流せるタイプの除菌ペーパーを使えば簡単。便座の表・裏側だけでなく、フタ、便器のフチや外側も忘れずに。

ついでに おそうじ

手を洗うついでに、流れてくる水でメラミンフォームのスポンジを湿らせて、タンクの手洗いと蛇口をこすります。小さめに切ったスポンジを石けんケースなどに入れ、すぐに使えるところに置いておくと便利。

ひとくち アドバイス



トイレの嫌なニオイにはお酢が効く

ニオイで困っているなら、拭きそうじに酢を使ってみては？ ニオイの主な原因、アンモニアを酢に含まれる酸が中和してくれるんです。ただし、おそうじ用には「食酢」を使用すること。「調味酢」は砂糖などが添加されていて、べつついたりします。



便器の中のおそうじ

- 1 トイレ用ブラシで便器の中、便器のフチの裏側をこすります。ブラシは先端がフチの裏側まで入る小型のものを選んで。こまめにブラッシングしていれば、洗剤を使う必要はありません。



- 2 水洗レバーを押し、便器のフチから流れ出る水で、ブラシの先をすすぎます。

- 3 あらかじめ適当な長さに切っておいたトイレットペーパーを、便器の内側に敷き、その上にブラシの先を置いて、手早く水切りします。



床のホコリ取り

- 1 床はモップでサッとひと拭き。特に便器の後ろなど、ホコリがたまりやすい場所を重点的におそうじしましょう。

- 2 ぞうきんや除菌ペーパーは、便器の後ろまで手が届きにくいので、小型のトイレ用ペーパーモップがおすすめです。



洗面所

気持ちよく使えるように、いつもキレイを心がけたい場所。使用したら、そのつど汚れや水滴を取りましょう。小さなスペースなので、いつでものおそうじも無理なくできます。



毎日のおそうじは…

- 洗面ボウルをスポンジでこする。
- 蛇口まわりをスポンジでこすり、カラ拭きする。
- 鏡をクロスで拭く。

ついでに おそうじ

蛇口まわりもスポンジでひとこすり。細かい部分の汚れは、すき間用ブラシなどで取りましょう。仕上げに乾いた布で蛇口を拭くと、きれいに光って、洗面台全体が美しく見えます。

ついでに おそうじ

顔を洗うついでに、手を洗うついでに、洗面ボウルや蛇口まわりをおそうじする。また、歯を磨きながら、もう片方の手で鏡を拭く。そんなクセをつければ、洗面所はいつも快適です。



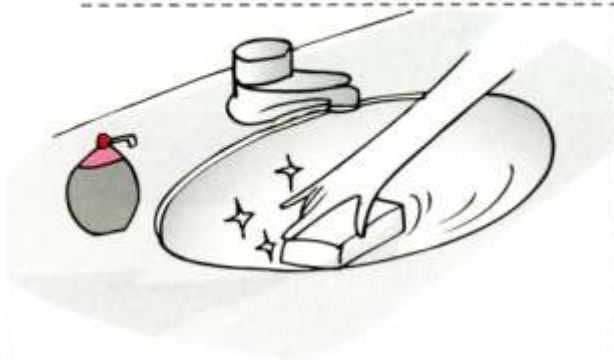
カンタンおそうじの強力な味方

普段のおそうじには、メラミンフォームのスポンジが活躍。蛇口まわりの小さなすき間に入り込んだ汚れも、ササッとかき出して、洗剤なしで落とせます。超極細繊維クロスで薄手のものは水切れがよく、使うたびに干さなくてもカビが生えにくいので、洗面所に置いておくのにぴったり。



洗面ボウルのおそうじ

- 1 水で濡らしたメラミンフォームのスポンジを絞り、水がしたたり落ちない程度に湿らせます。



- 2 洗面ボウル全体をスポンジでこすります。

- 3 こすった後、洗面ボウルを水で濡らしてみても、汚れが取れたかをチェック。表面にツヤのない部分があれば、まだ石けんカスが残っています。

※メラミンフォームのスポンジは、プラスチックの材質を傷めることがあるので、注意が必要。

鏡の拭きそうじ

- 1 水で濡らし、固く絞ったメラミンフォームのスポンジで、鏡を拭きます。

- 2 仕上げに、超極細繊維クロスやメガネ拭きクロスを使って、カラ拭きすればピカピカに。



浴室

浴室のおそうじは、お湯がまだ余熱を残しているうちにするのがベスト。入浴後すぐにお湯で洗えば、洗剤なしでもキレイになります。こまめな手入れで、やっかいなカビも防止。



毎日のおそうじは…

- 浴槽をスポンジでこする。
- 床、壁、排水口の汚れやすい部分をスポンジで洗い、全体にシャワーをかける。
- 蛇口まわりをスポンジでこすり、カラ拭きする。

※浴室用スポンジはアルミ蒸着フィルムのもの(P.50)が便利。

ついでに おそうじ

お湯を抜いたついでに、排水口もおそうじ。髪の毛やゴミを取り除いてから、スポンジでカバーと排水口の内側の汚れをこすり落とします。

ついでに おそうじ

蛇口まわりは、ブラシかメラミンフォームのスポンジで。金属製の蛇口についた水滴をそのままにしておくと、水ジミになることがあるので、入浴後に必ずタオルで拭いておきましょう。

ひとくち アドバイス



シャンプーを洗剤代わりに使用

毎日のおそうじはお湯だけでOKだけど、少なくとも1週間に1回程度は洗剤を使用したほうがいいでしょう。その場合、浴室用洗剤の代わりに、シャンプーを利用する手も。髪を洗ったついでに、シャンプーをスポンジにつけておそうじすれば一石二鳥。

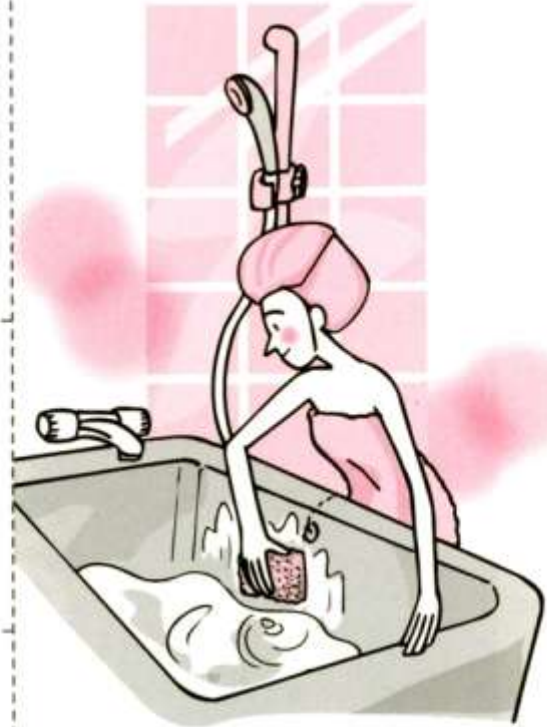


浴槽のおそうじ

1 お湯が冷めないうちに、浴槽をスポンジでこすり洗いします。浴槽の内側の水位線や、底の四すみなど、汚れが付きやすいところを重点的に行うのがコツ。

2 皮脂汚れが蓄積されるとヌルヌル感が残るので、少なくとも1週間に1回くらいは、スポンジに浴室用洗剤（またはシャンプー）を少量つけましょう。

3 シャワーで水をかけて汚れを流します。



床と壁のおそうじ

1 浴室の床と、石けんやシャンプーの泡が飛び散る壁の下の部分を、スポンジでこすります。カビが生えやすいすみもしっかりと。



2 しつこい汚れは、ボディシャンプーを利用して。ただし石けんは、石けんカスがつきやすいため、おすすめできません。

3 床と壁全体にシャワーで水をかけます。



ダスキン大石
0598-34-1134